

社会民主主義
フォーラム

全国
通信

No.20

2021 年
10 月 21 日

〒102-0083

東京都千代田区麹町 1-6-9

DIK 麹町ビル 704 号室

TEL : 03-6272-8135

FAX : 03-6272-8136

Mail : forum-cho@iaa.itkeeper.ne.jp

10.31 新しい政治に変えよう。

19日に公示された総選挙は3日目を迎えました。立憲民主党は214人の小選挙区候補者を含め240人（総定数465人）の候補者を擁立し選挙戦をたたかっています。とりわけ289の小選挙区の内217選挙区では4野党の候補者と自公与党候補者が対決する構図となりました。残された期間は10日間です。何としても勝ち抜き、安倍・菅政治を継承する岸田政権に終止符を打ち、命と暮らしを最優先する新しい政治を実現しましょう。



地方の衰退 止めよう 小選挙区で勝つ

公示日（19日）は臼杵市仲よし子ども公園で出陣壮行会が開催され、吉川はじめ候補（大分2区）は、元気に決意表明（写真上）しました。

「大都市や大企業から豊かさがいずれ地方にもこぼれ落ちると言われてきた。しかし現実はどうか。豊かさがこぼれ落ちるところか、豊かさが吸い上げられてきたのがこの10年間です。この政治を今変えなければ、地方は衰退の一途をたどります」

「2009年、重野安正議員が勝ち取った小選挙区での勝利。それを私がもう一度再現する。そして苦しんできた、中山間地域を抱える大分2区から、政治を変え、みんなの未来を変えてまいります。最



後の瞬間まで走りぬき、訴え続けてまいります」

そして同日、豊後大野市・下赤嶺公民館前では地域や教育費負担について「若い人たちが地方で暮らせるような、そこで子育てができる環境を作っていきたい。そのためには教育費への支援が必要だ。今、家庭の負担が大変重くなっている。予算を大幅に増やし家庭の負担を減らしていきたい」と子どもたちへの支援強化を訴えました。

また翌20日、豊後大野市役所千歳支所前で、「コメ価格の下落など農家の減収に対応できない現在の農業政策。中山間地の小規模な農業、景観や国土保全の観点からも、しっかりと残す。それには所得補償が必要だ」と訴えました。



命をないがしろにする 政治を変える

山本ほまる候補（島根2区）は江津市総合市民センター駐車場での出発式で立候補の挨拶と決意。夕方は益田市商工会議所での個人演説会に決意を述べました。（写真上）

「政治への怒りは、第一にコロナ禍の『自宅療養』で、病院にかかることができず本当に多くの人たちが亡くなっている現実。経済大国と言われる日本でこんなことが起きていいのか、政治のあり方が問題だ」

「第二は森友学園の問題。改ざんを命じられた赤木俊夫さんは私と同じ国鉄出身、まじめに努力されてきた人です。正義でないことを命じられ、悩みぬいて自ら命を絶った。しかし政治は逃げ回っている。社会的殺人であり絶対に許されません。こうした政治が岸田内閣にも引き継がれており、こんな政治は何としても変えなければならない」

個人演説会には吉田忠智参議院議員も応援に駆け付けました（写真左）。



「かつて竹下王国と言われてきたが政治地図が大きく変わり今回はチャンス。支持労組も立憲一本でたたかう

ことができる。思い切って声掛けをし、ぜひ小選挙区勝利へ押し上げて欲しい」

◇◇◇ ◇◇◇ ◇◇◇

ネット選挙は、全国どこからでも応援が可能です。吉川はじめ（大分2区）、山本ほまる（島根2区）のSNSをフォローして、リツイートなど拡散にご協力をお願いいたします。



所得を上げることが 何よりの経済対策だ

枝野幸男代表 宮城県で訴え（写真）

立憲民主党は「#立憲大作戦2021」と銘打った街頭宣伝を16日と19日に東京都内で、21日には宮城県仙台市で開催しました。選挙期間中各地で開催予定です。

以下は宮城での枝野代表の演説要旨です。

「老後や子育ての安心を高める。それは消費を伸ばす何よりもの経済対策ではないか。私たちは、民主党の時代から『あいつらには経済政策がない』と言われてきた。冗談じゃない。所得を押し上げることが、安心を高めることが、何よりもの経済政策、景気対策だ。これが世界の先進国の常識だ。今時、規制緩和で景気が良くなるというのは、10年、20年遅れ」「政治を変えるための準備は整っている。皆さんの力で勝たせてほしい。政治を変えさせてほしい」

2021年10月19日に発表された立憲民主党 枝野幸男代表のコメント

第49回衆議院総選挙の公示にあたって

本日、衆議院総選挙が公示されました。今回の選挙では、ほぼ10年ぶりに野党第一党が定数の過半数の候補者を擁立し、また選挙区においても、野党が連携・協力した結果、全国で野党と与党で「1対1」の構図を作ることができ、国民の皆様、現政権に代わる選択肢を提示することができました。関係者の皆様のご努力・ご協力に心より感謝いたします。

この選挙は安倍・菅政権、そしてこれを継承する岸田政権に対して国民が審判する選挙です。幾たびも繰り返すコロナ対策の失敗、実質賃金を下げ格差を拡大する経済政策、そして隠す、ごまかす、改ざんする政治を根本から改め、まっとうな政治を実現し、支え合う社会への第一歩を大きく踏み出すための選挙です。

私たちの準備はできています。水際対策、検査拡充、「補償と自粛のセット」など具体的なコロナ対策があります。収入を増やし、消費を活性化する経済政策は準備万端です。政権を獲得したら、速やかに森友・加計・「桜を見る会」を徹底的に再調査します。政権を獲得した、その瞬間からまっとうな政治をスタートさせます。

「変えよう。」

これが国民の皆様に対する立憲民主党のメッセージです。当たり前を当たり前にするため、当たりの政治を実現するため、共に変えていきましょう。そのためには皆さんの力が必要です。